

**製品名: MEK1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21431**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:2000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:43kD;Observed MW:43kD

**抗原情報**

遺伝子名	MAP2K1
別名	MAP2K1;MEK1;PRKMK1;Dual specificity mitogen-activated protein kinase kinase 1;MAP kinase kinase 1;MAPKK 1;MKK1;ERK activator kinase 1;MAPK/ERK kinase 1;MEK 1
遺伝子 ID	5604.0
SwissProt ID	Q02750
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

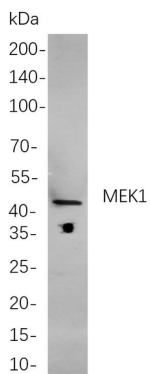
**背景**

細胞局在：細胞質、核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、二重特異性タンパク質キナーゼファミリーに属し、マイトジェン活性化タンパク質 (MAP) キナーゼキナーゼとして機能します。MAP キナーゼは細胞外シグナル制御キナーゼ (ERK) としても知られ、複数の生化学的シグナルの統合点として機能します。このタンパク質キナーゼは MAP キナーゼの上流に位置し、細胞外および細胞内の様々なシグナルに応じて MAP キナーゼの酵素活性を刺激します。MAP キナーゼシグナル伝達経路の必須構成要素として、このキナーゼは増殖、分化、転写制御、発達など、多くの細胞プロセスに関与しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



MEK1 ウサギ mAb を用いた A431 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。